

原発問題連続学習会

後期

大阪弁護士会



福島第一原子力発電所で発生した事故は、今なお収束していません。環境中には大量の放射性物質が排出され続けています。自然環境や住民の健康のみならず、農林水産物、食品、地域経済にも広く深く影響が広がっています。多くの市民がふるさとを奪われ、帰れる目途もたちません。

一たび事故を起こせば、このような甚大な被害をもたらす原子力発電。これまで、この原発に依存してきた私たち自身の暮らしや社会のあり方を見直さなければならないのではないでしょうか。そして、そのためにはまず何よりも正しい知識を身につけなければなりません。大阪弁護士会は、原発に関する様々な問題について広く市民の皆様とともに学習するために、連続学習会を企画しました。ぜひ多数ご参加くださるようお待ちしております。

- 参加費無料・申込不要
- 各回の開催日、内容、講師の詳細は裏面をご覧ください。
- 会場：大阪弁護士会館（大阪市北区西天満1-12-5）



【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口(1)から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

原発問題連続学習会 **後期**

第7回
1月16日(月)
午後6時30分～
(受付開始午後6時)

「原発労働問題」

【講師】齊加 尚代さん (毎日放送ディレクター)

【プロフィール】早稲田大学文学部卒業、1987年毎日放送入社。報道局の記者ディレクターとして「VOICE」特集などの取材にあたる。なかでも労働問題を幅広く手がけ、昨年は若者の労働組合運動をテーマにしたドキュメンタリー番組を制作。震災以降、福井県や福島県などの原発下請け作業員の実態をまとめた特集を放送。

【講師】萬井 隆令さん (龍谷大学名誉教授)

【プロフィール】1943年生まれ。1970年京都大学大学院法学研究科博士課程修了。龍谷大学名誉教授。専攻は労働法。2011年8月の日弁連「原発労働問題シンポジウム」で基調講演。主な著書に、『労働契約締結の法理』(有斐閣)、『労使紛争と法』(共著・有斐閣)、『規制緩和と労働者・労働法制』(法律文化社)など。

第8回
2月14日(火)
午後6時30分～
(受付開始午後6時)

「自然エネルギーの可能性」

【講師】山下 紀明さん (環境エネルギー政策研究所主任研究員)

【プロフィール】環境エネルギー政策研究所主任研究員。京都大学大学院地球環境学舎環境マネジメント専攻修士卒業、ベルリン自由大学環境政策研究センター博士課程在籍。地方自治体のエネルギー戦略を主に担当。

第9回
3月9日(金)
午後6時30分～
(受付開始午後6時)

「脱原発依存社会への課題」

1. エネルギーシステムの再設計
2. 市民と自治体が進めるドイツのエネルギー政策

【講師】植田 和弘さん

(京都大学大学院経済学研究科および同大学院地球環境学堂教授 (両任))

【プロフィール】President, East Asian Association of Environmental and Resource Economics, 近著に植田和弘・梶山恵司編『国民のためのエネルギー原論』(日本経済新聞出版、2011)、植田和弘他著『電力大転換』(毎日新聞出版、2012)がある。

【講師】千葉 恒久さん (東京弁護士会所属弁護士)

【プロフィール】1962年生まれ。89年弁護士登録。東京弁護士会、日本環境法律家連盟所属。93～96年ドイツ・フライブルグ大学留学。同大学外国法修士(公法・環境法)。環境問題、市民オンブズマン運動などに取り組む。共著に「世界の地球温暖化対策」(学芸出版社 2009)など。

第10回
4月28日(土)
午後1時30分～
(受付開始午後1時)

「マス・メディアが報道しない原発事故」

【講師】上杉 隆さん (元ジャーナリスト(学習会時点)、自由報道協会代表)

【プロフィール】1968年福岡県生まれ。都留文科大学卒業。テレビ局・衆議院公設秘書・「ニューヨークタイムズ」東京支局取材記者などを経て、フリージャーナリストに。震災・原発問題の他、官房機密費や記者クラブ問題、メディア論やゴルフなどをテーマに活躍中。

【講師】おしどりさん (夫婦音曲漫才師、自由報道協会理事)

【プロフィール】2005年、マコとケンの夫婦漫才・音曲漫才コンビを結成。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。漫才協会会員。政府・東京電力統合対策室の共同会見に継続的に出席して専門的な取材を行っている。